

(様式2(1))

事業所名 グループホーム プラティア花園

作成日: 平成 29年 11月 20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ケア統一を図る上で介護計画が重要である意識付けが薄く、作成が滞りがちである。また、介護計画全体のモニタリングを実施する書式、介護計画にもとづいたサービス実施が明確になる介護記録の工夫が必要である。	書式の見直しを会社として行い統一したもので介護計画を立て、モニタリングが行えるようになる。介護記録の内容について、介護計画と連動した記録となる	統一書式にて介護計画を作成し、さらに見直しが必要などあれば、修正を加え、介護計画やモニタリングにも反映できるようにする。介護記録の工夫については、計画作成担当者間で協議して、その内容を全スタッフに周知させていく。	3ヶ月
2	27	介護日誌の記録について、変化や気づきについて、共有しきれないところがある。モニタリングを行う際にもすぐにわかるような記録になっていない。	介護日誌にある申し送り事項の欄があり有効利用するとともに、変化、気づきなどがわかるように工夫する	介護日誌に赤ペンでマークするなどして一目でわかる記録にする。アセスメント表に赤字などで追加表記をしていくことをスタッフに協力してもらい、情報を共有していく。	3ヶ月
3	30	主治医・看護師・スタッフが情報をしっかりと共有できる記録となっていない。	主治医・看護師・そして薬剤師ら医療機関としっかり情報共有ができることで、適切な医療が受けられる	往診時専用の記録書式「往診記録」を作成し、介護スタッフに情報がしっかりと伝わるようにする。医療連携体制の記録書式も見直し、看護師と介護スタッフの情報交換が漏れなく行え、確認ができるようにする。	3ヶ月
4	35	災害対策として、地域の協力体制が築けていない。	非常災害の際に、地域でお互いに協力し合える関係を構築できる	地域の防災対策や災害時の対応について、運営推進会議で協議を行っていく。地域の災害対策情報を集め、スタッフ全員に周知していく。災害時の必要物品についてホーム内で検討して、備蓄を行っていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。